

記者会見資料

阿波おどり事業について

～「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」の設立に向けて～

令和4年2月17日

経済部にぎわい交流課

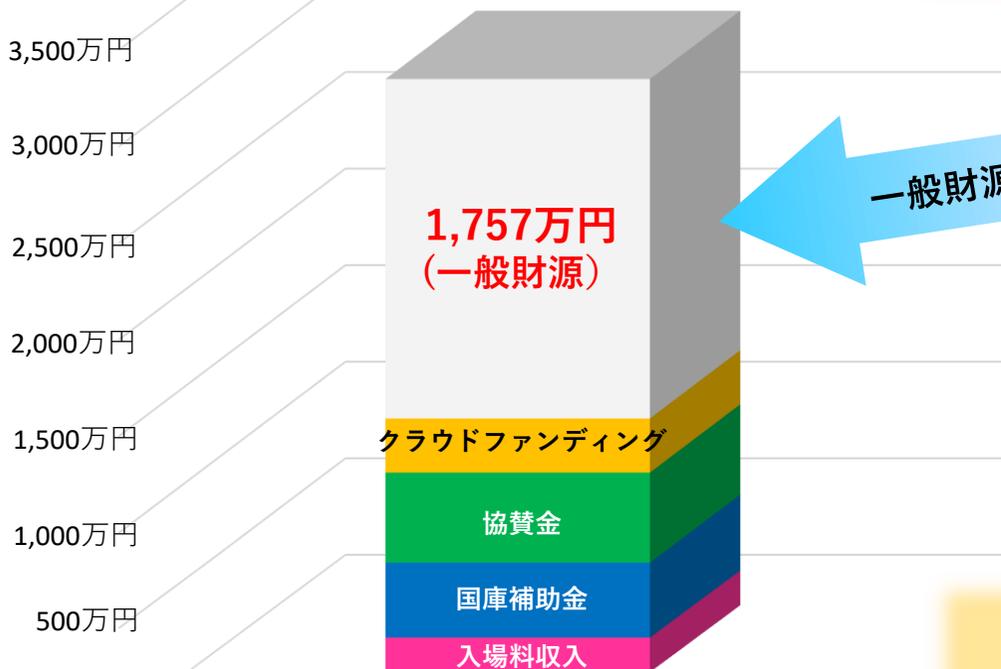
阿波おどり未来へつなぐプロジェクトの実施状況

2021阿波おどり開催事業費(財源内訳)

一般財源	1,757万4千円
クラウドファンディング	280万1千円
協賛金	467万円
国庫補助金	395万円
入場料収入	182万9千円

全国からの応援
約3,000万円
(ふるさと納税&協賛金&クラウドファン)

【ふるさと納税】
(阿波おどり未来へつなぐプロジェクト2021応援団)
R4.1.31現在



一般財源へ充当予定

500万円積立予定



阿波おどり開催事業費の全額をふるさと納税等で賄う

阿波おどりの振興に有効活用

新たな阿波おどり事業運営体制について(基本的な考え方)

R3. 11. 24

阿波おどり事業運営体制等検討委員会

【主な提言内容】

- (1)市民による市民のための、持続可能な阿波おどりを実現するため、**徳島の多様な住民・団体の参画による、責任ある運営体制の構築が要**である。
- (2)新しい運営主体の下で、持続可能な阿波おどりを実現するための**計画的なstack管理とリスク管理のための基金創設や、監査体制の構築が必要**である。
- (3)まずは、着実に一步を踏み出し、**できる部分から小さく始めるべき**であり、阿波おどりを取り巻く環境変化や新型コロナウイルスの感染拡大状況も踏まえ、**これらの体制整備を2~3年程度の期間で実施**することが望まれる。

令和4年度以降

阿波おどり事業の運営(方針)

- 1 2025日本国際博覧会(大阪・関西万博)開催による観光需要を見据え、**3カ年計画で持続可能な運営体制の構築**を行う。
- 2 **今年夏の2022阿波おどり**は、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、**感染症対策に留意しながら開催することを前提**とする。
- 3 **多様な市民、団体が参画した「新たな実行委員会」**を設置し、阿波おどり事業を運営するとともに、持続可能な運営体制の構築に向けて**協議・検討**を行う。

2022阿波おどり事業計画の策定について(素案)

【基本方針】

全国的に新型コロナウイルス感染症の変異株が拡大し、現時点で、その終息も十分見通せない状況にあること、また、踊り連の練習の本格的な再開も不透明な状況であること等を踏まえ、

今年夏の2022阿波おどりは、コロナ禍において万全の感染防止対策を講じ開催した「2021阿波おどり～ニューノーマルモデル～」を参考に、感染状況に注視しつつ、状況に応じた開催規模とする。

名称

2022阿波おどり

主催

多様な市民、団体等が参画したオール徳島による
「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」

日程

令和4年8月12日(金)～15日(月) ※ 8月11日(木・祝)は前夜祭

会場

前夜祭(アスティとくしま)
選抜阿波おどり(あわぎんホール)
有料演舞場(藍場浜、南内町)
無料演舞場(両国本町、新町橋)
おどり広場等(新町橋東、両国橋南、アミコドーム、シビックセンターさくらホール)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ダイバーシティ(多様性)やSDGsの視点を取り入れた「新たな形」を積極的に展開

新型コロナウイルス感染症による開催判断

「2021阿波おどり～ニューノーマルモデル～」を参考に、直近のとくしまアラートや全国における緊急事態宣言等の発動状況を慎重に見極めつつ、**新型コロナウイルスの感染状況に応じた5つの案（モデルA～モデルD、中止）**によるものとする。

とくしまアラート 発動状況		未発令・ 感染観察	感染警戒		特別警戒		非常事態
			【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	
開催判断		開催				中止	
開催規模		モデルA	モデルB	モデルC	モデルD	—	—
屋外	有料演舞場 (藍場浜・南内町)	○	○	×	×	×	×
	無料演舞場 (両国本町・新町橋)	○	×	×	×	×	×
	おどり広場等 (新町橋東ほか)	○	×	×	×	×	×
屋内	前夜祭 (アスティとくしま)	○	○	○	×	×	×
	選抜阿波おどり (あわぎんホール)	○	○	○	×	×	×
	屋内公演 (無観客・ライブ配信)	—	—	—	○※	×	×

※補足 モデルDの開催日程は、8月11日～15日のうち、1日程度とする。

阿波おどり事業の新たな運営主体

R4.2.1 設置

「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」 設立準備会議

【検討事項】

- (1) 新たな実行委員会の設置と構成
- (2) 新たな実行委員会の責任と役割
- (3) 事務局機能の役割
- (4) 阿波おどり事業の運営方針素案
- (5) 2022阿波おどりの事業計画・収支計画素案

【委員】

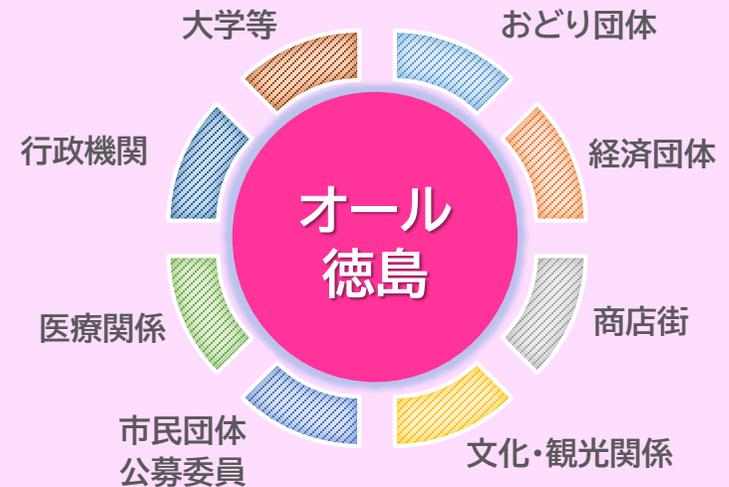
- ・ イーストとくしま観光推進機構 (観光)
- ・ 徳島市文化振興公社 (文化)
- ・ 徳島都市開発 (まちづくり)
- ・ つなぐ阿呆とくしま (市民団体)
- ・ 徳島市 (行政)

※事務局：徳島市にぎわい交流課

R4.3. 下旬(設置予定)

(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会

市民による市民のための持続可能な阿波おどりを
実現するため、
多様な市民、団体等が参画したオール徳島による
「新たな実行委員会」を設置



※広く市民の意見を反映させるため、公募委員を募集

ネーミングライツの導入

阿波おどり開催支援の輪を広く国内外に募ることにより、阿波おどりの魅力を発信するとともに、持続可能な阿波おどりを実現するため、**これまでの広告協賛やクラウドファンディング等に加え、新たに有料演舞場等の名称に企業名や商品名等をつける「ネーミングライツ」を導入**

今後のスケジュール(予定)

開催時期	内容
～令和4年3月中旬	設立準備会議での検討 「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」の設立準備
3月下旬	「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」 設立総会・第1回実行委員会 (内容)「(仮称)阿波おどり未来へつなぐ実行委員会」の設立等 2022阿波おどりの事業計画案・収支計画案

※4月以降、新たな実行委員会での検討状況により適宜会議を開催



持続可能な阿波おどりの運営に向けて